

NEWS RELEASE

2017年(平成29年)9月1日

報道関係者各位

佐川グローバルロジスティクス株式会社

物流センターでRFIDを用いた入出荷検品業務を開始 ～煩雑な作業をシステム化することで効率的な検品を実現～

SGホールディングスグループで国内ロジスティクス事業を展開する佐川グローバルロジスティクス株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:森下琴康)は、大型物流施設「東松山SRC」(埼玉県東松山市)で、2017年6月1日(木)から無線通信データを読み書きする自動認識システム、RFIDを用いた入出荷検品業務を開始しました。

この取り組みは、同施設で受託している株式会社コーエン(本社:東京都港区 代表取締役社長:藤澤 光徳、以下「コーエン」)の物流拠点において稼動しており、コーエンがサプライチェーン全体の最適化を図るために導入したRFIDを活用し、両社にメリットのある仕組みづくりを協議した結果、入荷と出荷の2工程で行なう検品業務に、ゲート式のRFID読み取り機を設置することで、入荷検品においては1時間当たりの生産性が7.8倍向上、出荷検品においても8.9倍の向上に成功しました。生産性向上により、省人化を実現、物流業界の「人員不足」という課題に対応する新たな検品システムとなります。

このシステム導入により、コーエンが目指すサプライチェーンの最適化に物流工程で貢献することが可能となりました。

「オーダーメイド物流」を掲げているSGLでは、この事例をもとにSWMS※とRFIDを組み合わせた商品開発に積極的に取り組むことで、お客様のサプライチェーン全体の効率化に取り組んでまいります。

※SWMS Standard Warehouse Management System SGLの物流ノウハウを活用して作られた倉庫管理システム

*SGホールディングスグループ

純粋持株会社SGホールディングス株式会社(本社:京都市南区、代表取締役会長:栗和田榮一)と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社・外郭団体で構成

報道関係お問い合わせ先
佐川グローバルロジスティクス株式会社 総務部広報担当
TEL:03-3768-8501 FAX:03-3767-1845